

自民党 県会報告 第176号

12月県議会 定例会 会期 12月9日(水)～12月25日(金)

本県の復興・再生に必要な予算など重要な議案を審議しました。

改選後初となる12月定例会は、本県の復興・再生に向け緊急に措置すべき経費や、「まち・ひと・しごと創生総合戦略(仮称)」、復興計画改訂の方向性などについて、熱心に審議がなされ、条例など112件の議案を可決いたしました。

自民党議員会からは、吉田栄光幹事長の代表質問をはじめ、4名が一般質問に登壇しました。一般会計補正予算の主な内容については以下の通りです。

○平成27年度一般会計12月補正予算 計850億6600万円 (主な内容)

- ・福島への挑戦する姿を全国に発信するための経費【1億6337万円】
- ・復興事業を更に推進するための復興交付基金への積立て【50億1747万円】
- ・避難者の方々の生活拠点づくりを進めるための国からの交付金の基金への積立て【228億6286万円】
- ・除染を着実に推進するための市町村に対する交付金の増額【288億円】
- ・新たな木質バイオマス活用技術の実用化に向けた実証事業要する経費【1億5597万円】
- ・モモせん孔細菌病の病原菌の拡散防止を図るための経費【2500万円】
- ・本年9月の関東・東北豪雨による災害に対応するための経費【105億8940万円】 など

代表質問(平成27年12月14日(月))

自民党議員会を代表して、吉田栄光議員(双葉郡選出)が登壇し、「平成28年度当初予算編成方針」や「危機対応力の向上」、「福島第一原発の廃炉に向けた取組」などについて、代表質問を行いました。



自民党議員会が主導で可決した意見書

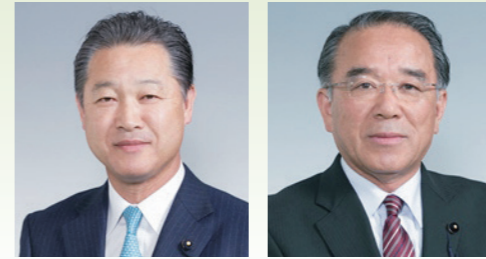
- 私学助成の充実強化等に関する意見書
- 原子力損害賠償の完全実施を求める意見書
- 避難指示解除後を見据えた避難者の自立支援施策の充実を求める意見書
- 持続可能な社会保障制度の確立を求める意見書
- 福島相双復興官民合同チームによる支援体制の強化を求める意見書
- 安全・安心な医療体制の構築を求める意見書
- 復興に向けた企業立地補助金や雇用支援事業等の充実を求める意見書

議会の構成が変わりました

県議会の改選に伴い、議会の構成が変わりました。改選後初めての12月定例会において、新議長には自民党議員会の杉山純一議員が、新副議長には同じく自民党議員会の満山喜一議員が選任されました。新委員会の構成については下の表のとおりとなります。

また、自由民主党福島県議会議員会の会派の会長に斎藤健治議員が、副会長に

佐藤憲保議員が、幹事長に吉田栄光議員が、総務会長に佐藤金正議員が、政務調査会長に渡辺義信議員がそれぞれ就きました。



▲杉山純一議長 ▲満山喜一副議長

12月定例会設置の調査特別委員会	
避難地域復興・創生対策特別委員会	委員長 太田 光秋議員 副委員長 星 公正議員
人口問題対策特別委員会	委員長 桜田 葉子議員 副委員長 矢島 義謙議員
地域創生・産業振興対策特別委員会	副委員長 本田 仁一議員

▲12月定例会において福島県における重要な課題について取り組む調査特別委員会が設置されました。

新・所属委員会						◎委員長 ○副委員長
常任委員会						議会運営委員会
総務	企画環境	福祉公安	商労文教	農林水産	土木	◎長尾トモ子 ◎佐藤金正 ◎渡辺義信 ◎西山尚 ◎鈴木智 ◎坂本竜太郎
◎ 勅使河原正之 ◎ 星 公正 ◎ 斎藤勝利 ◎ 満山喜一 ◎ 渡辺義信	◎ 山田平四郎 ◎ 宮川政夫 ◎ 青木 稔 ◎ 吉田栄光 ◎ 小林 昭一	◎ 鈴木 智 ◎ 佐藤憲保 ◎ 柳沼純子 ◎ 長尾トモ子 ◎ 坂本竜太郎	◎ 佐藤雅裕 ◎ 矢島義謙 ◎ 太田光秋 ◎ 藤田秋子	◎ 遊佐久男 ◎ 佐田仁一 ◎ 本田健治 ◎ 斎藤金正 ◎ 佐藤義謙	◎ 矢吹貢一 ◎ 高宮光敏 ◎ 小松山善継 ◎ 遠藤忠一 ◎ 西山 尚利	

平成28年度当初予算編成方針

平成28年度当初予算編成方針が発表されました。財政の見直しをもとに基本的な考え方に基づき新年度予算が編成されていくこととなりますが、新年度は震災・原子力災害からの真の復興に向けて、様々な課題に果敢に「チャレンジ」し、新たなステージへの一歩を踏み出すための予算として、過去最大の当初予算を編成し、その上で復興・再生枠については所要額を別枠管理とし、財源を確保し、復興再生に取り組むこととなっております。我々自民党県議会は政府に対しても県内各団体から寄せられた要望を県予算に反映させるべく働きかけを行いました。今後とも厳しい視点を持って2月定例会に臨んでまいります。

重点プロジェクト案

- 人口減少・高齢化対策
- 子ども・若者育成
- 避難地域等復興加速化
- 農林水産業再生
- 生活再建支援
- 中小企業等復興
- 環境回復
- 新産業創造
- 心身の健康を守る
- 風評・風化対策
- 復興まちづくり・ネットワーク基盤強化

「夢・希望・笑顔に満ちた」新生ふくしま」の実現に向け、重点プロジェクトを中心に、被災者の生活再建、ふるさと帰還の環境づくり、産業の再生・創出、風評・風化対策などの視点から選定した事業や「しごと」を創り、「ひと」の好循環を生み出し人口減少に歯止めをかける取組に対し最優先に予算配分を行う。

復興・再生枠

【別枠管理】

東日本大震災及び原子力災害からの復興・再生に係る経費 ※あらゆる方策を講じて財源を確保する

福島県まち・ひと・しごと創生総合戦略(仮称)案

重点プロジェクトの人口減少対策として、11月に策定しました、「福島県人口ビジョン」に基づいて「国が地方創生に動く今がチャンス」との思いを込めて、構造的な問題解決に果敢に挑戦するとともに、ふくしまの持つ潜在能力、強みを生かし、未来を担う若者が、ふくしまの可能性を信じ、希望をかなえられる社会を実現することを基本的な理念として掲げ、地域創生、人口減少対策を7つのプロジェクトとして推進していきます。

地域創生のための7つの挑戦

- “しごとづくり”への挑戦
 - ①ふくしまの雇用・起業創出プロジェクト
 - ②「しごと」を支える若者の定着・還流プロジェクト
 - ③農林水産業しごとづくりプロジェクト
- “ひとの流れをつくる”への挑戦
 - ④定住・二地域居住推進プロジェクト
 - ⑤観光コンテンツ創出プロジェクト
- “結婚・出産・子育ての希望をかなえる”への挑戦
 - ⑥切れ目のない結婚・出産・子育て支援プロジェクト
- “まちづくり”への挑戦
 - ⑦「リノベーションのまちづくり」プロジェクト